

おかやま健康づくりアワード2024開催実績等

1 目的

9月の「おかやま健康づくり月間」に、様々な健康づくりに関連する行事等を実施するとともに、職場や地域で、健康づくり活動に積極的に取り組む団体を表彰する健康づくりアワードを開催する。

健康づくりに取り組む企業や、地域の健康づくりボランティアの表彰を実施するほか、健康づくりに関する講演や運動指導を行うことで、県民や企業などが健康づくりに積極的に取り組む気運の醸成を図り、多様な担い手による健康づくりの県民運動が展開されるようアワードを実施する。

2 開催日程

令和6（2024）年9月30日（月） 13:30～16:00

3 開催場所

岡山県医師会館 三木記念ホール（岡山市北区駅元町19番2号）

4 内容

- ・おかやま健康づくりアワード表彰（職場部門 3社 地域部門 4団体）
- ・講演「適切な睡眠が心身の健康を守る
～健康づくりのための睡眠ガイド2023の活用～」
講師 日本睡眠協会 内村 直尚 理事長
- ・実演「座ったままできる簡単体操」
講師 日本健康運動指導士会岡山県支部 南淵 淳

5 おかやま健康づくりアワード受賞事例集作成について

(1) 概要

平成30年度から令和5年度のおかやま健康づくりアワードを受賞した団体の取組事例や、受賞後の現在までの取組状況などを掲載した冊子を作成し、各団体の取り組み事例の横展開を図る。冊子の内容は、県ホームページに公開する。

(2) 掲載数

職場部門 17 団体 地域部門 25 団体

おかやま健康づくりアワード2025開催要領（案）

1 目的

9月の「おかやま健康づくり月間」に、様々な健康づくりに関連する行事等を実施するとともに、職場や地域で、健康づくり活動に積極的に取り組む団体を表彰する健康づくりアワードを開催する。

健康づくりに取り組む企業や、地域の健康づくりボランティアの表彰を実施するほか、健康づくりに関する講演や運動指導を行うことで、県民や企業などが健康づくりに積極的に取り組む気運の醸成を図り、多様な担い手による健康づくりの県民運動が展開されるようアワードを実施する。

2 開催日程

令和7（2025）年9月30日（火） 13:30～16:00

3 開催場所

岡山県医師会館 三木記念ホール

（岡山市北区駅元町19番2号）

4 内容

13:30～14:00 知事表彰

（健康づくりに取り組む企業や健康づくりの優良実践団体）

14:05～15:30 講演「 （検討中） 」

講師 検討中

15:40～16:00 日本健康会議事務局からの説明

※日本健康会議 in 岡山との共催を検討中

おokayama健康づくりアワード2025（表彰） 応募にあたっての注意事項（案）

1 表彰部門

- (1) 職場部門・・・事業所において行う健康づくりの取組
- (2) 地域部門・・・自治会、住民団体、企業等が行う地域住民等を対象とした健康づくりの取組

2 表彰分野

表彰対象の健康づくりは、次のいずれかにあてはまる取組とします。
また、応募できる取組分野は3分野までとします。

- (1) 健(検)診
- (2) 栄養・食生活
- (3) 身体活動・運動
- (4) 休養・こころの健康
- (5) たばこ対策
- (6) 歯と口の健康
- (7) その他

3 表彰日時・場所

令和7年9月30日（火）13:30～16:00
おokayama健康づくりアワード2025
（岡山県医師会館 三木記念ホール）

4 応募期間

令和7年6月2日（月）～7月2日（水）

5 申込方法

応募用紙に必要事項を記入の上、活動の概要がわかる資料や写真を添付して、岡山県保健医療部健康推進課あてに郵送又はメールにより応募くださるようお願いいたします。

6 応募・審査・表彰等に係る留意事項

- (1) 営利を目的としない取組が対象です。
- (2) 応募した内容について、必要に応じて資料の追加を依頼することがあります。
- (3) 過去5年間に、重大悪質な事案で法令等に違反し、処分等を受けたことがある場合は、応募できません。
- (4) 過去に当該表彰を受けている場合（上位組織が表彰を受けている場合は、下位組織を含む。）は、対象外です。
※地域部門において、同一市町村内に同一目的のために設立された組織にあつては、主たる組織（例：本部（当該市町村を代表し、従たる組織を統括する部署）等）が表彰を受けている場合は、従たる組織（例：支部（当該市町村の一区域を担当する部署）等）も表彰を受けていることと見なします。
- (5) 応募書類は返却しません。
- (6) 応募のあった取組は、県ホームページなどで紹介する予定です。
- (7) 審査内容の詳細に関する問い合わせ、審査結果に対する異議申立については一切お受けできません。
- (8) 記入いただいた個人情報、本事業の目的にのみ利用し、本事業以外に利用することはありません。
- (9) 応募いただいた時点で、以上の事項を承諾いただいたものとして扱わせていただきます。

日本健康会議 in 岡山（仮称）の開催について

- 「日本健康会議」とは、国民の健康寿命延伸と医療費の適正化を図ることを目的に、経済界、医療関係団体、自治体、保険者団体のリーダー及び有識者をメンバーとして、2015年7月に民間主導で発足した活動体。
保険者等における先進的な予防・健康づくりの取組を全国に広げる役割を担う。
- 日本健康会議が掲げた「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」の宣言2で、「47都道府県全てにおいて、保険者協議会を通じて、加入者及び医療者と一緒に予防・健康づくりの活動に取り組む。」とされ、その具体的な取組として、「都道府県と連携して、地域版日本健康会議を開催すること。」と記されている。
- 既存の「おかやま健康づくりアワード」（主管課：県健康推進課）をベースに、県、健康おかやま21推進会議、保険者協議会、日本健康会議の共催での「日本健康会議 in 岡山（仮称）」の開催について検討を進める。 ※令和7年度アワードの予算成立が前提条件。

【おかやま健康づくりアワード2024】

- ・日時 令和6年9月30日（月） 13:30～16:00
- ・場所 岡山県医師会館三木記念ホール
- ・内容 おかやま健康づくりアワード表彰
講演「適切な睡眠が心身の健康を守る
～健康づくりのための睡眠ガイド2023の活用～」
実演「座ったままできる簡身体操」

【参考】健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025

- 宣言1** 地域づくり・まちづくりを通じて、生活していく中で健康でいられる環境整備に取り組む自治体を1,500市町村以上とする。
- 宣言2** 47都道府県全てにおいて、保険者協議会を通じて、加入者及び医療者と一緒に予防・健康づくりの活動に取り組む。
- 宣言3** 保険者とともに健康経営に取り組む企業等を10万社以上とする。
- 宣言4** 加入者や企業への予防・健康づくりや健康保険の大切さについて学ぶ場の提供、及び上手な医療のかかり方を広める活動に取り組む、保険者を2,000保険者以上とする。
- 宣言5** 感染症の不安と共存する社会において、デジタル技術を活用した生涯を通じた新しい予防・健康づくりに取り組む保険者を2,500保険者以上、医療機関・薬局を20万施設以上とする。

令和6年度 禁煙・受動喫煙防止対策に係る各種取組の状況

禁煙・受動喫煙防止対策に関する周知について

1 受動喫煙防止・禁煙推進セミナー

- ・セミナーの開催 (R7.1.29)

県健康推進課による改正健康増進法・岡山県受動喫煙防止条例等についての説明
講演「法律とガイドラインを根拠に推進する『喫煙率ゼロ』」

産業医科大学 大和 浩 教授

企業による取組事例紹介

株式会社フジワラテクノアート

参加者：会場 16名 オンライン 68名 合計 84名

2 受動喫煙防止啓発用動画による啓発

- (1) 若者向け 受動喫煙の健康被害等の啓発動画

YouTube、TikTok 広告として配信

配信期間：5月31日～9月30日、12月28日～2月28日に配信

5月から9月の期間の広告表示回数：約66万回

- (2) 事業者・一般向け 県受動喫煙防止対策事業 PR 動画

YouTube、Instagram、Google ディスプレイ広告として配信

配信期間：9月1日～11月30日

広告表示回数：約105万回

禁煙対策について

禁煙事業については、岡山県健康づくり財団に委託して実施した。

1 若者等への禁煙環境整備事業

- (1) 概要

これから喫煙年齢を迎える若者等を対象としたたばこの健康影響に関するセミナーの実施

- (2) 開催実績

11回 (令和5年度：7回)

実施校：ノートルダム清心女子大学、美作大学、岡山理科大学、新見公立大学、
就実大学、県農業大学校、岡山大安寺中等教育学校、岡山芳泉高校、
岡山学芸館高校、岡山市立御南中学校 (計10校)

(※下線は今年度新たに実施した学校)

2 COPD 重症化予防事業

(1) 概要

県医師会と連携し、医師等を対象に COPD に関する研修を実施し、COPD の注意喚起を促進することにより、早期発見や重症化予防、禁煙促進を図る。

(2) 開催実績

第1回：9月19日開催（会場、WEB 合わせて105名参加）

- ・県からの行政報告
- ・講演「COPD 診療のポイントとトピックス」
川崎医科大学 小賀 徹 主任教授

第2回：2月27日開催

- ・症例報告 岡山大学病院 肥後 寿夫 助教
- ・講演「COPD 診療の現状、課題、そして最新のトピックス」
岡山大学 宮原 信明 教授

受動喫煙防止に係る環境整備について

1 敷地内全面禁煙実施施設（H31.4.1～）

(1) 概要

敷地内（建物を含む）をすべて終日禁煙としている施設を認定し、認定証（ステッカー）を交付（希望施設名は県ホームページで公表）

(2) 認定実績（累計）（R6.12.31時点）

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
982施設	1,058施設	1,075施設	1,115施設	1,111施設	1,105施設

（※令和6年度は5件認定、11件抹消（施設の廃止による））

2 禁煙宣言施設（R2.6.2～）

(1) 概要

屋内を全面禁煙とする施設に禁煙宣言ステッカー（2種類）を交付

(2) 交付実績（累計）（R6.12.31時点）

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
769施設	828施設	858施設	919施設	962施設

令和6年度 おかやまからだ晴れ食サポート事業の取組の状況

おかやまからだ晴れ食サポート事業の概要

<目的>

生活習慣病を予防し、健康寿命を延伸するためには、令和3年県民健康調査で課題となった「食塩の過剰摂取」「野菜の摂取量の不足」「食事バランスの乱れ」を重点課題に取り組む必要がある。これらの課題解決には、個人へのアプローチに加えて、自身の健康に対する関心の程度にかかわらず、自然に健康な行動をとることができる食環境づくりを推進していくことが求められている。

そこで、関係機関（大学・岡山県栄養士会等）と連携し、食品関連事業者が食を通じた健康づくりに取り組めるよう支援を行い、県民が自然に健康になれる食環境づくりを推進する。

<体系図>

利用者が自然に健康になれる食環境

2 食環境づくり事業 ※「減塩」を重点課題に取り組む（取組課題は今後増やしていく）

事業者が提供・販売している既存商品(メニュー)の減塩に「継続して」取り組めるよう支援を行う。

(1)スーパーマーケット、コンビニ等を対象とした取組

内容：既存商品の減塩化と効果検証

実施：県

協力：栄養士養成施設（大学）等

(2)健康増進を目的とした給食施設等を対象とした取組

⇒今後、不特定多数が利用する食堂等へ対象を広げていく

内容：既存メニューを無理なく減塩する手法の検討・助言、

効果検証、取組事例の収集

実施：県（保健所・支所） 協力：栄養士養成施設(大学)等

事業効果：食環境づくり（提供・販売しているメニューの減塩化）に取り組む事業者が増え（将来的には自主的な活動として取組が継続する）、利用者の食塩摂取量が減少する。

1 おかやまからだ晴れ食サポーター登録事業 ※「野菜摂取量の増加」「減塩」「適切な量と質の食事」などに取り組む

食を通じた健康づくりに取り組む飲食店等に「おかやまからだ晴れ食サポーター」として宣言、登録をもらうことで、飲食店等の健康意識の醸成を図る。 <登録要件例> 1品あたり70g以上の野菜メニューの提供、減塩調味料を卓上に置いている、栄養成分表示をしている等

実施：県（保健所・支所） 協力：岡山県栄養士会（栄養価計算、ヘルシーメニュー等の開発助言等）

事業効果：食を通じた健康づくりに取り組む飲食店等が増え、利用者が食生活の改善に活用できるようになる。

※ここでの減塩とは、現状よりも食塩相当量を減らしたものをいいます。

おかやまからだ晴れ食サポーター登録事業

登録実績（令和6年12月末時点）

総登録数：46店舗（施設）

食環境づくり事業

1 スーパーマーケット、コンビニ等を対象とした取組（実施主体：県庁）

取組事業者：県内スーパーマーケット事業者 1社

2 健康増進を目的とした給食施設等を対象とした取組（実施主体：保健所・支所）

(1) 汁物の段階的な減塩化

取組施設：3施設（保育所） 約360人

取組方法：汁物液体量の段階的な減量

取組結果：総減塩量 約2.7kg（1人あたり7.4gの塩を減量）

(2) 既存献立の減塩化

取組施設：5施設（保育所）

「いざ、健康づくり先進県岡山へ！」推進事業

現状・課題・必要性

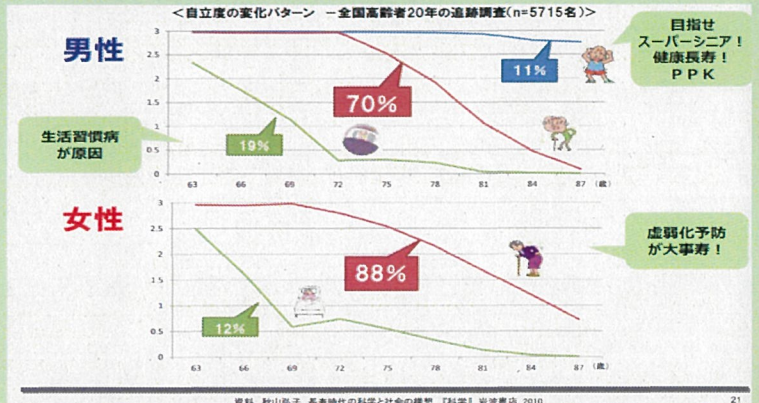
【現状】

- 岡山県では、健康寿命は平均寿命より全国順位が低い。
- 健康寿命の延伸を阻害する主な要因は生活習慣病及びフレイルと考えられる。

【課題・必要性】

- 健康増進に関連する分野は、食生活、運動、飲酒、喫煙など広範囲に及ぶが、健康寿命の延伸のためには、各分野において、正しい知識の普及や健康づくりの実践を促す啓発を行い、健康づくりに取り組む県民の増加を図る必要がある。
- 特に、効果的に健康寿命の延伸を図るには、岡山県において健康寿命延伸を阻害している要因、また、その要因毎の健康寿命への関与度を分析し、関与度の高い要因に重点化して対策を実施する必要がある。

	健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均） （令和4（2022）年）	平均寿命 （令和2（2020）年）
男性	72.29歳（全国26位）	81.90歳（全国10位）
女性	75.67歳（全国18位）	88.29歳（全国1位）



【出典】厚生労働省第144回市町村対象セミナー（2019年7月3日）
「高齢者の就業機会の確保に向けて」資料

取組

1 健康づくり実践促進事業【事業費：500千円】

健康づくりに取り組む県民の増加を図るため、第2次健康おかやま21の最終評価結果等を踏まえ設定したテーマについて、最新の科学的知見に基づく正しい知識や健康づくりの実践方法等に係る啓発資材を作成、活用する。

2 健康づくり先進県岡山へ向けた分析調査事業

【事業費：5,808千円】

(分析①②のイメージ)

(1) 健康寿命延伸を阻害している要因の分析調査

- 健康寿命の延伸を阻害している要因は何か。
(課題抽出)
(ex) 栄養・食生活、運動等
- その要因はどの程度、健康寿命に影響するのか。
(関与度の測定、優先度の順位付け)
(ex) 栄養・食生活(0.20年延伸)等
- 課題解決のために、どのような対策が必要か。
(具体的な対策の検討)
(ex) バランスのよい食事、運動習慣の定着等

統計での推計

ステップ4 推計から、健康指標の改善で健康寿命と関連の強い健康指標が明らかになった

男性		女性	
順位	健康指標 (延びる健康寿命)	順位	健康指標 (延びる健康寿命)
1位	喫煙率 (0.19年)	1位	塩分摂取量 (0.06年)
2位	塩分摂取量 (0.10年)	2位	身体活動 (0.04年)
3位	飲酒量・頻度 (0.04年)	3位	血圧 (0.03年)
4位	身体活動 (0.04年)	4位	喫煙率 (0.02年)
5位	血圧 (0.02年)	5位	飲酒量・頻度 (0.01年)
6位	野菜摂取量 (0.02年)	6位	野菜摂取量 (0.00年)
7位	果物摂取量 (0.01年)	7位	脂質異常症有病者割合 (0.00年)
8位	脂質異常症有病者割合 (0.00年)	8位	果物摂取量 (0.00年)
9位	糖尿病有病者割合 (0.00年)	9位	糖尿病有病者割合 (0.00年)
10位	肥満 (0.00年)	10位	肥満 (0.00年)

【出典】奈良県「健康寿命に寄与する要因等の研究結果（概要）」

(2) 分析結果に基づく実証事業（令和8（2026）年度実施）

分析結果を踏まえた効果的な介入方法の検討、その介入方法による実証事業の実施

期待される効果

- 健康づくりに取り組む県民の増加により、生活習慣病やフレイルの予防、さらには健康寿命の延伸につながる。
- 分析結果に基づく優先度の高い要因への対策の実施により、効果的に健康寿命の延伸を図ることができる。
- 分析結果等を市町村や医療保険者、健康づくりボランティア等に共有し、それぞれの取組への反映をしてもらうことにより、県施策との相乗効果が得られる。